

Carstay、「Japan Mobility Show Nagoya 2025」に出展 ～ 日本唯一のEVバンベースのキャンピングカーと「SAny.VAN」展示 ～

キャンピングカーと車中泊スポットのシェアリング・サービス、車両製造、改装支援など国内最大級のバンライフ※のプラットフォーム事業を展開するCarstay株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：宮下晃樹）は、2025 年 11 月 22 日（土）から 11 月 24 日（月・祝）まで「ポートメッセなごや」

（名古屋市国際展示場）で開催予定の「Japan Mobility Show Nagoya 2025」に出展します。東京で開催した「Japan Mobility Show 2025」と同様、未来都市の社会像を体感できる企画展「Tokyo Future Tour 2035」では、日本で初めて販売を開始したEV（電気自動車）キャンピングカー「moonn.」ブランドの「T-01」の実車と、“車両”を“移動体”という形だけでなく「滞在」「宿泊」「商談」「防災拠点」など多様な用途に拡張する実験・体験型の場「モビリティ・ビレッジ」展示の「シェアリングエコノミー」エリアにCarstayの「SAny.VAN」を展示します。「T-01」は、中型サイズ以上の商用バンをベースとしたキャンピングカーとしては、国内で唯一のモデルとなります。

東京で約 2 週間開催された「Japan Mobility Show 2025」でCarstayの展示コーナーには、約 30 万人の来場者が訪れました。



【（左から）Carstayがイメージする2035年の“可動産（かどうさん）”がベースの社会、「Japan Mobility Show 2025」で展示したEVキャンピングカー「moonn.」の「T-01」】

「Japan Mobility Show Nagoya 2025」ではEVキャンピングカーだけでなく、2024年から販売を開始した「SAny.VAN」も展示します。「SAny.VAN」は、ハイエースなどの新車や中古車を持ち込んでの架装に対応しており、価格は新車で約 550 万円～、中古で約 420 万円～、車両の持ち込みの内装架装で 220 万円 からとなっています。最短 1 カ月での納車が可能で、業界内でも競争力を有する価格を実現したキャンピングカーです。

<< Carstay 出展エリアに関する概要 >>

- ◆ 展示期間：2025 年 11 月 22 日（土）から 11 月 24 日（月・祝）9:00～18:00
- ◆ 展示会場：「Japan Mobility Show Nagoya 2025」（ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場））
 - ① 第一展示館「Tokyo Future Tour 2035」エリア
 - ② モビリティ・ビレッジの「シェアリングエコノミー」エリア
- ◆ 出展内容：① EV キャンピングカー「moonn.」ブランドの「T-01」
② キャンピングカー「SAny.VAN」
当日は、来場者限定でノベルティを配布する予定です

<< 参考情報：「Tokyo Future Tour」での「Carstay 2035」の展示について >>

「Tokyo Future Tour」は、2035年の東京を舞台に、自動運転やEVなどの先端モビリティがもたらす「移動」「暮らし」「社会」の変化を、企業横断で描き出す体験型展示です。

Carstayはその一環として、「動く拠点から、未来の“豊かさ”をつくる心震えるモビリティに出会える3日間」をコンセプトに、未来都市で“可動産”となるキャンピングカーの役割を提示します。2035年、都市空間では「どこに住むか」ではなく、「どこでどう生きたいか」を選択できる社会が広がります。Carstayの車中泊スポットと、キャンピングカーのシェアリング・プラットフォーム、自社製造のキャンピングカーが従来の移動・宿泊手段としてだけではなく、都市と自然をつなぐ可動する不動産「可動産」として定義した未来、EVと自動運転の未来が到来したときの“動く拠点”となるキャンピングカーの新しい価値、さらに、災害時には“動くシェルター”となる社会インフラとしての役割も強調し、人と地域、自然と都市をつなぐ新しいライフラインを提案します。

出展ブースでは2035年の“可動産”がもたらす生活シーンを描いた「Carstay2035」のコンセプト・アートの展示、実際の車両を用いた疑似体験、キャンピングカーの新しい価値を体感できます。

Carstayは、2030年代の日本において、観光・宿泊・災害対策・再生可能エネルギーと連動した“動く拠点”の社会的需要が拡大し、バンライフ／車中泊市場が約5,000億円規模に成長すると予測。今回の展示では可動性・未来性・持続可能性の3つを軸に、“可動産”となるキャンピングカーが都市と自然をつなぐ新しいライフスタイルを創出し、さらに非常時には“動くシェルター（避難所）”として社会インフラを補完する可能性を提示。“可動産”や“動く拠点”となるキャンピングカーは「普段は旅と暮らしの豊かさを生み、非常時は人の命を守るシェルターになる」という二重の価値を持ちます。

【「SAny.VAN」について】

「SAny.VAN」は業界内で安価で、高いデザイン性に加え、個々のニーズに合わせてヒーターやソーラーパネルなどの追加装備をオプションとして選択することも可能で、レイアウトの自由度と拡張性が高いキャンピングカーです。

内装には車中泊可能なソファベッド、シンク、バッテリー、照明などを標準搭載。今回、新車だけでなく、中古車の仕入れから、持ち込み車両のハイエースなどを同じ内装でキャンピングカーに改修・改造することが可能です。



内装デザインは空・森・海・大地など「自然の中で“生きる”“走る”車両」や「地球の自然」を満喫した「アースカラー“地球の色”」を基本デザインに、上質な素材「ロシアンバーチ」を使用しています。納車は新車で8ナンバー登録含めて最短3カ月、中古車で2カ月、持込車両で最短1カ月となります。

昨今、新車のキャンピングカーの納車には2年以上かかる上、一般的なバン型のキャンピングカーの車両価格が約600万円以上、トラックをベース車両にしたキャンピングカーは約1,000万円以上と高額なため、Carstayでは中古車でも標準仕様の改造が可能で、短納期、かつ高品質で価格を抑えたキャンピングカーを開発、“誰もが楽しく購入しやすい”キャンピングカー／“可動産”を提供するものです。

(<https://mobilab.jp/brands/sany>)

【「moonn.」ブランドの「T-01」について】

CarstayとH^{エイチ}W^{ワフ} ELECTROが共同開発し、日本で初めて販売を開始したEVキャンピングカーです。中型サイズ以上の商用バンをベースとしたキャンピングカーとしては、国内で唯一のモデルとなります。「T-01」のベース車両には、HW ELECTROが生産する100%電力で走行し、二酸化炭素排出量ゼロを実現したEVバン「ELEMOL」を採用。Carstayが荷室スペースに大型家電やベッドなどを備えたりリビング空間を架装し、走行用のメインバッテリーに加えてソーラーパネルや外部電源から給電可能なサブバッテリーを搭載しています。

これにより、キャンピングカーとしての快適な滞在はもちろん、災害時の電源供給や移動型オフィスなど、さまざまな用途での活用が可能です。



「T-O1」には 43.5kWh の走行用メインバッテリーだけでなく、後部荷室の“動くリビング”には、車両の天井部分「ルーフ」に設置した 370W の大型ソーラーパネルから充電可能な 200A のサブバッテリーに接続し、電子レンジ、冷蔵庫、エアコン、IH 調理器など生活に欠かせない家庭用電化製品の使用が可能です。また、100V の家庭用電源を装備しているため、冬には車載または家庭用ヒーターで暖をとることができ、パソコン、スマートフォン、テレビ、サブモニターなど、あらゆる電化製品の利用と充電が可能です。

「T-O1」に完備したベッドは、固定のシングルからセミダブルサイズに拡張ができ、大人 2 名が就寝可能です。販売価格は 995 万円～（税込）。

(<https://mobilab.jp/brands/moonn>)

※バンライフ：車を通じた旅や暮らしにより“人生を豊かにする”ことを目的として、荷台スペースが広い車“バン”を家やオフィスのように作り変え、車を働く・遊ぶ・暮らしの拠点とする新たな“ライフ”スタイル。

■ Carstay 株式会社について

Carstay 株式会社は「誰もが好きな時に、好きな場所で、好きな人と過ごせる世界をつくる」というミッションを掲げ、キャンピングカーのレンタル・カーシェアと車中泊スポットのスペース・シェアリングサービス、車両製造など、国内最大級の新しい旅と暮らしのライフスタイル「バンライフ」事業を展開する「^{マース}MaaS（^{モビリティ}Mobility as a ^{サービス}Service）」のスタートアップ企業です。2019 年 1 月に車中泊スポットのスペースシェア、2020 年 6 月にキャンピングカー、2024 年 12 月にテントの貸出しが可能なアウトドアカーのカーシェア・サービス「^{カーステイ}Carstay」を開始。全国各地に車中泊スポットは約 300 箇所、キャンピングカーとアウトドア車両のカーシェアの登録車両は約 500 台です。2022 年 10 月には、車をキャンピングカー仕様に改造するための DIY スペース、キャンピングカーの製造・改造・修理などを手掛ける「^{モビラボ}Mobi Lab.」事業も開始しました。(<https://carstay.jp/>)

【報道関係からのお問い合わせ先】

Carstay 株式会社 広報担当

中川 生馬（なかがわ いくま）

・電話：080-4476-1106

・E-mail：i.nakagawa@carstay.jp